

施政方針



▲施政方針の全文をご覧いただけます

最重要課題である人口減少と少子高齢化対策を基軸に 将来都市像「住民が主役の『モリ』のまち」の実現を目指す

北秋田市議会3月定例会で、津谷市長が令和5年度の主な事業と施策の大綱を説明しました。津谷市長は「コロナ禍を乗り越えた新たな北秋田市を指して、前へ」を合言葉に感染症と経済対策に取り組んできたとし、令和5年度は、本市の最重要課題である人口減少と少子高齢化対策を基軸に、新たな決意のもとで「幼児期から切れ目のない子育て家庭の経済支援」「少子高齢化・未婚化対策として新たな結婚支援」「デジタル化やワーケーションなどの環境整備と高齢者等のデジタル弱者への支援」「きめ細やかで市民に優しい公共交通運体系の構築」「大館能代空港3往復運航継続や魅力ある観光資源のPRを官民一体で進め、交流人口の増加を目指す」「移住定住に結びつける取り組み」「働く場の提供や農林業・商工業が持続可能な産業となるよう基盤強化と後継者、新たな担い手の育成」等に取り組むなどと施策の方向性を示しました。
(※抜粋して掲載しています)



▲施政方針を述べる津谷市長

各課等の

主な施策と事業等

総務課

- 適正な人事配置と定員管理に努め、柔軟かつ効果的な採用試験の実施により人員確保に努めます。
- 出前講座等の活用や防災リーダー、防災士の養成を促進し、自主防災組織の設立と活動の支援に努めます。

総合政策課

- 公共交通の利便性向上のため、きめ細やかで市民に優しい運体系を構築します。
- 大館能代空港3往復運航の継続に向け、関係団体と連携して取り組みます。
- 移住支援制度や子育て等に関する手厚い制度なども併せて発信し、移住体験等を通して関係人口の増加につなげます。

内陸線再生支援室

- 保育園や小・中学校を対象としたふるさと教育補助や高校生定期券補助を継続し、より多くの沿線住民の利用に取り組みます。

財政課

- 自治体DXを推進し行政手続きのオンライン化に努め、利便性向上と行政運営の効率化を図ります。

税務課

- 適正で公平な課税を行い、納税者の利便性

農林課

- 豪雨災害の早期復旧に取り組みとともに、営農継続支援として、種子購入費助成など市独自の支援策を講じます。
- 新規就農者や農業経営継承者に対する資金支援や農業技術取得研修など、担い手の確保・育成に取り組みます。
- 繁殖用牛や比内地鶏素雞導入に対する助成など農家の経費負担の軽減を図り、経営継続を引き続き支援します。
- 鳥獣被害の未然防止のため猟友会と連携し、市民の安心・安全に努めます。

商工観光課

- 市内の児童・生徒や学生、保護者に地元産業や企業に対する理解を深めてもらい、市内への就業を促し地元定着へつなげます。
- 中小企業の経営力強化を図るため、ICTの活用による販路拡大や競争力強化につなげるなど、DX化に取り組みます。
- 優遇制度等を広くPRし各産業分野の企業誘致を推進し、進出企業へのフォローアップ訪問や従業員の確保を支援します。
- 起業支援事業や空き店舗対策事業など新規出店者を支援していくほか、高齢化が進む事業者対策は、市商工会と連携し事業承継事業に取り組み積極的に支援します。
- ワーケーションやテレワークなどの環境整備を進め、ワーケーションプログラムを構築して関係人口増加につなげるとともに、循環型経済対策として、デジタル化を推進し事業環境の充実に努めます。

「日本三天樹水観賞地」のブランド力や森吉山の自然の素晴らしさを情報発信します。

森吉山が国立・国定公園の新規指定・大規模拡張候補地に選定となり、市民や関係機

生活課

- ごみの減量化とリサイクルの推進、食品ロスの削減など、環境負荷への軽減に取り組みます。
- 自治会や町内会に各種支援事業を継続します。
- 多様化・複雑化する消費者問題に対応するため、相談体制の充実を図ります。

市民課

- マイナンバーカードの普及に努め、コンビニ交付システムや窓口支援システムを活用し、市民が利用しやすい窓口サービスの提供を進めます。
- 「ご遺族支援コーナー」では、ご遺族の負担軽減に努めます。
- 乳幼児から高校生、ひとり親家庭の児童、重度心身障がい児(児)者などの家庭の経済的負担を軽減し、安心して医療を受けられるよう支援します。

福祉課

- 障がいのある人もない人も共に暮らしていくことのできる地域共生社会の形成を目指す、住み慣れた地域で安心して生活していくため、地域生活支援拠点の整備を推進します。
- 未来を担う子どもを応援するため「こども課」を創設し、子育て世帯等への経済的支援等に取り組むほか、こども課内に「子ども家庭総合支援拠点」を設置し、妊娠時から就学後も安心して子育てできる伴走型の相談支援に取り組みます。
- 若い世代が子どもを産み育てることに喜びと希望が持てるよう、保育料と副食費の保護者負担分を市が助成し、実質無償化を実施するほか、子育てクーポン事業などを継続し、子育て世帯の負担軽減を図ります。「きたあき

消防本部

- 市民の安心・安全を守るため、消防力の確保と防災体制の強化に努めます。市民参加型の訓練の成熟度を高め、災害時に取るべき避難行動の周知や、自主防災組織の結成促進と支援体制の充実に取り組みます。
- 初の女性消防士が誕生する予定となっており、多様な市民要望への対応が可能となることから、市民サービスの向上と組織の活性化、強化に努めます。
- 高齢者世帯や障がい者世帯へ無線運動型住宅用火災警報器設置補助を継続し、戸別訪問や防火座談会などで火災予防の啓発に努めます。
- 救急救命士の養成に努め、救急医療体制の高度化や救急隊員のレベルアップを図ります。救命率向上のため、緊急時に誰でも使用可能な「事業所AEDステーション」として登録する取り組みを推進します。
- 森吉川川統合分署は、統合のメリットを最大限活かせるよう、消防防災体制のさらなる構築に努めます。
- 新たな消防団員の確保や消防団協力事業所の登録に取り組みます。

教育委員会 総務課

- 義務教育学校阿仁学園の統合校舎となる現阿仁合小学校校舎の改修工事を進めます。
- 食材価格高騰に伴う給食費値上げ分を助成し、保護者の負担軽減を図ります。

高齢福祉課

- 仲間づくりや生きがい活動を行う団体の支援や、介護予防講座や各種サロンの開催援助、老人クラブ活動への支援等を通じ、高齢者の社会参加の機会を提供します。医療・介護・生活支援等地域包括ケアシステムの充実に努めます。一人暮らし高齢者や高齢者世帯へのきめ細やかな相談と支援に努めます。
- 認知症本人や家族への支援とともに、徘徊による事故防止と早期発見のため、徘徊高齢者等見守りシール交付事業を推進します。
- 介護を必要とする高齢者やその家族が安心して介護サービスを利用できるように、介護保険制度の適正な運用に努めます。

医療健康課

- 健康ポイント事業を継続し、健診受診率の向上、健康寿命の延伸を目指します。
- 子育て世代包括支援センター「こころ」の充実を図り、安心して子育てができる環境づくりに取り組みます。
- 带状疱疹の発症率低下と重症化予防を図るため、50歳以上を対象として新たにワクチン接種費用の一部を助成します。
- 新型コロナウイルスワクチン接種は、国の動向を見ながら必要に応じて医療機関等協力機関と連携し取り組みます。
- 市民病院の医療サービスの向上を図るとともに、一次医療を支える市内医療機関等と連携し、地域間格差のない安心・安全な医療提供体制の確保に取り組みます。
- 県と秋田大学医学部に医師派遣を要請するほか、常勤医師奨励金制度を継続します。

学校教育課

- 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善、個別最適な学びと協働的な学びの充実を図り、全ての子どもたちの可能性を引き出す学びを目指します。毎日の授業の中で、常にICTを活用する学習活動を推進します。
- 地域に根ざした学校運営協議会を核とする教育活動の推進や地域との絆づくりに努め、地域に開かれ、地域の活性化へつながら取り組みを進めます。
- 義務教育学校阿仁学園は、学習活動や学校行事等を工夫し、学園と地域の連携を円滑に進めることができるよう支援します。

生涯学習課

- ふるさと教育や自然体験活動、家庭教育支援、地域学校協働活動を通じて、地域全体で子どもを育てる環境づくりを進めます。
- 世代間交流の場を広げ、知識や経験を次世代に引き継ぎ、地域づくりに携わる人材の発掘や育成を支援します。
- 多くの市民が芸術文化活動に参加できる機会の創出と気軽に参加できる環境づくりに取り組みます。
- 伊勢堂岱遺跡の価値を伝えていくため、適切な保存や活用が図られるよう積極的に情報の発信に努めます。各地域に残る有形・無形文化財も、保存・継承に取り組みます。

スポーツ振興課

- 各種スポーツ大会やイベント等を支援します。
- 企業や学生の合宿等の誘致などにより、トップアスリートとの交流促進に努め、競技人口の底辺拡大と競技力の向上を図ります。